

60th

H.B.C.

広島少年合唱隊 創立60周年記念定期演奏会

とどけ愛と平和のメッセージ



2019年11月30日 土 開演 15:00

開場 14:30~

広島県民文化センター

- 主催 / 広島少年合唱隊・広島少年合唱隊保護者会
- 後援 / 広島県・広島市・広島市教育委員会・公益財団法人広島市文化財団・NHK広島放送局・中国新聞社・一般社団法人広島県医師会・一般社団法人広島市医師会
一般社団法人広島県歯科医師会・ドクタージュノー研究会・広島県少年少女合唱連盟・広島少年合唱隊後援会



PROFILE

エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学院修了。第9回都留音楽祭オープニングコンサートに出演。東京カテドラル聖マリア大聖堂にてモンテヴェルディ「聖母マリアのタベの祈り」「倫理的宗教的な森」やヘンデル「メサイヤ」でバリトンソロを務め、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」イエス役シュツ「マタイ受難曲」イエス役等、広島各地で独唱者としても活動している。海外ではフランス、パリにあるマドレーヌ寺院にて、フォーレ「レクイエム」のバリトンソロを務める。声楽を鈴木仁、宇田川貞夫各氏に師事。広島山陽学園山陽高等学校主幹教諭、山陽太鼓"弾"顧問、山陽高校PTAスマイルコーラス指揮者、広島少年合唱隊隊長、声楽アンサンブル「カンターボ・エテルナ」主宰。



広島少年合唱隊 第4代隊長
平田 昌久

広島少年合唱隊 創立60周年記念定期演奏会 ごあいさつ

本日は創立60周年記念定期演奏会にご来場頂きまして、誠にありがとうございます。

広島少年合唱隊は「少年の持つ清純な歌声をのぼし、合唱音楽を通して国際平和文化都市ひろしまの街作りづくりに役立とう」と、昭和35年に発足し歌い続けて、このたび60周年を迎える事ができました。これも設立からこれまで合唱隊の歴史を紡いで来られた先輩指導者の皆様と、歌い継いでこられた卒業生の皆様、影ながら支えてこられた後援会の皆様や保護者の皆様、そして会場で隊員の歌声を聴いて応援して下さるお客様のおかげです。心より感謝申し上げます。

このたびは三部構成でお届けします。第一ステージは普段から歌っているレパートリーを、第二ステージは毎年チャレンジしているミュージカルを、そして第三ステージは節目の年にいつも歌ってきたフォーレのレクイエムをオーケストラ演奏で歌います。

声というものは一人ひとりに与えられた世界で唯一のすばらしい楽器です。声には持ち主の性格や考え方、生き方があらわれてきます。歌に込められたメッセージを表現するためには、声楽的な技術だけではなく、隊員自身の精神的な成長が大切だと考えています。

広島少年合唱隊では、一人ひとりが音楽を楽しみながら音楽性を磨くと共に、演奏活動を通して様々な集団生活上の経験を重ね、目に見えないものの価値を学び、精神的に成長することを指導者一同目標とし、日々指導しております。

本日は日頃の練習成果を皆様に披露させて頂くと共に、合唱隊のハーモニーで楽しい一時を過ごして頂くことが出来たら幸いです。

歌には歌詞が有り、歌詞にはメッセージが込められています。歌に込められた想いを、聴いてくださる方々に届けることが歌い手の使命だと考えています。『とどけ愛と平和のメッセージ』が、皆様に届けられるよう、これからも隊員と共に、心を込めて歌い続けます。今後とも70周年に向けてより一層の皆様のご支援の程、よろしくお願い致します。

広島少年合唱隊 第4代隊長
平田 昌久



後援会会長
OB保護者

松本 峰人



この度60回目の定期演奏会を開催出来ます事、心よりお慶び申し上げます。

男子児童のみの合唱団は数少ない中で、少子化や習い事スポーツクラブなどの多様化の中で隊員を維持してこられました。59年前に創設に奔走された先生方、優しく時には厳しく指導して頂いた先生方のおかげと感謝しております。

創設時に小学生だった私も、厳しい入隊テストをパスして練習に通っていた従兄弟を随分と羨ましく思っていました。たまたま息子二人ともが昭和60年代に入隊出来ました。保護者会で定演や夏合宿のお手伝いをしながら素晴らしいなと感じた事があります。それは、歌唱の技術はもちろん、生活態度にも現れる子どもたちの成長でした。指導者の先生方や研究科の先輩方に恵まれているなあと実感しました（もちろん、ご家族の最良のサポートがあつての事です）。

歌は世界共通の言葉です。心と心を通わせる力を持っています。世界平和への祈りを込め、また子どもたちの明るい未来のために、70回いや100回と続けて開催されます事を祈念しまして、お祝いのメッセージと致します。

HBCふぁみりい代表
OB保護者

新谷 美樹子



創立60周年おめでとうございます。

今から28年前のある日、小3の息子が合唱隊の入隊試験を受けに行きたいと申します。林先生が、学校でオーストラリア演奏旅行のビデオを見せてくださり、同級生に「一緒に試験（この年が最後）を受けよう」と誘われたのです。

こうして1991年1月、晴れて合唱隊本科C組の一員に。当時は木曜日と土曜日にレッスンがありましたが、3年間、どこで遊んでいても時間になると着替えて一人でバスに乗って練習に通いました。

合唱の練習に加えて合宿や演奏旅行、CD制作など貴重な体験をし、1994年3月のフランス演奏旅行を最後に卒隊しました。合唱を通じて培った様々な経験は、その後の人生のよりどころになっていると確信します。

子どもたちの卒隊を目前にして、「これからも合唱隊を応援していきたいね」と、前後援会会長のお許しを得て保護者有志でOB（後援）会だよりの発行を始めました。その後、後援会組織の立ち上げ、HBCふぁみりいの活動へと繋がっています。親子ともに素敵なお縁をいただいた広島少年合唱隊をこれからも可能な限り応援していきたいと思っております。

第60回定期演奏会の成功とますますの発展をお祈りいたします。



元指導者（第3代隊長）
運営委員

林 久雄



広島少年合唱隊創立60周年記念演奏会おめでとうございます。

私は、20回定期演奏会から、合唱隊指導者になりました。就任当時、樋口正司隊長など創設時のメンバーに囲まれ、広島少年合唱隊の将来像をよく聞かされました。「東京での演奏、ヨーロッパでの演奏」などでした。あれから40年経過し、すでに首都圏での演奏はあたりまえになり、ヨーロッパ・アメリカの演奏旅行も6回行ってきました。大きな夢が現実なものになったのです。

私の夢は、広島少年合唱隊が、「バチカンのローマ法王の前で演奏する。ニューヨーク国連本部で各国の代表の前で演奏する。」ことです。もう一つ「専用の練習場を持つ。」ことです。いずれこれらが達成されることも、そう遠くないことでしょう。

広島少年合唱隊が発足した後、全国にたくさんの少年合唱団が設立されましたが、すでに多くが消滅したり、少年少女合唱団に変わったりし、現在少年だけの合唱団は数団しかありません。その中でも広島少年合唱隊は、設立時の信念を忘れることなく60年間着実な歩みを続けてきました。

今後も少年たちの純粋な歌声が、世界の人々を魅了し、ヒロシマから世界へ平和を発信し続けることを願うものです。

元指導者
運営委員

宮下 俊英



昭和35年に発足した広島少年合唱隊が、本日第60回定期演奏会を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

広島少年合唱隊は、少年の持つ清純な歌声をのぼし、合唱音楽を通して国際平和文化都市ひろしまの街づくりに役立とうと、60年もの長きに渡り歌声を届け、国内外で澁刺とした演奏活動を続けて来られました。また、これまでにご尽力された多くの指導者・保護者会・後援会の皆様に深く敬意を表します。

私の一番の思い出は、第30回記念演奏会で、フォーレ作曲レクイエムを、オーケストラ伴奏のラター版で指揮をしたことです。ラター版での演奏は、広島初演だったと記憶しています。故井上一清先生宅に指導者一同で何度も伺い、特訓していただきました。バリントンソロは現隊長の平田昌久先生が、ピエ・イエズは、少年合唱隊が全員で歌いました。

60周年を節目とし、今後も益々素晴らしい歌声を聴かせてください。音楽はいいね！



OB / 4 期生

蒲池 和彦



「合唱隊のこれからを担う少年達へのメッセージを物語り風に記してみました。謎解きをしてみてください。」

けさ合唱隊の夢をみました。三瓶山の合宿で、60周年記念の登山をしています。先頭は60年前の先輩です。細い山道をこれまでの卒業生全員1,078人と、隊員44人が一列になって登るので、予科の子も達がふもとの宿舎を出発する頃には、一期生は頂上に到着していました。途中で休んでいると、山の上から歌声が風になってこだましています。心地好い風に吹かれて元気が出てきたので、ぐんぐん登っていきます。そこで、「あ〜アッ！」足をふみはずして…。気がつくとりハーサル中の定演のステージです。「良かった大丈夫か？」やさしく声をかけてくれたのは、登山ガイドの樋口さん。「助かったのは合唱隊のおかげだよ。君たちは素晴らしい仲間だね。集合時間は守る。気持ちよく挨拶する。そして、なにより周りの人を大切にできる。だから空のはてまで歌が届くんだよ。」と。「あの僕は、どうしてここへ？」と、樋口さんに聞きかけたところで、目がさめました。

(作成協力：49期 高山太一)



OB / 9 期生

久保田 一憲



創立60周年おめでとうございます。私が合唱隊隊員になったのは、1967年・昭和42年でした。

小学校2年生/担任の先生に薦められて入隊テスト。緊張して受けたことを思い出します。

3年生入隊(予科) / あまり合唱に興味がなかったのですが、休まず練習に通いました。

4年生(本科C組) / 何だか楽しくなってきました。友達も増えてきました。

5・6年生(本科A・B組、選抜組) / 同声合唱で4部合唱はいいなあ。選抜メンバーに選ばれなかった時は悔しかったなあ。オペレッタでは、キャストにはなれなかったけれどサブで一緒に練習ができてよかったなあ。卒業は寂しかったけれど、思い出がいっぱいでした。

そして私は、還暦を過ぎた今も合唱を続けています。合唱隊で歌っていたこと、当時お世話になった先生方のご指導、隊員を支えてくださった後援会(お父さん・お母さん方)のことを今でも思い出します。合唱・音楽には素晴らしい力があると感じています。

合唱は世界共通、平和の尊さを発信したいですね。ますますのご発展をお祈りいたします。



OB / 31 期生

竹澤 進一郎



本日は広島少年合唱隊第60回記念定期演奏会の開催、誠におめでとうございます。

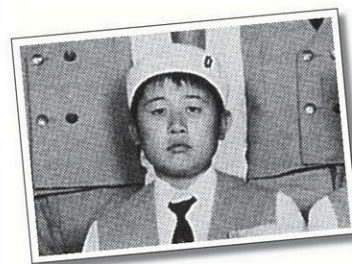
私は、小学校3年生に入隊、92年に卒業し、その後3年間研究科として計7年間在籍させていただきました。

当時の思い出といえば、入隊間もない3年生の時にオーストラリア、研究科の時にフランスへと演奏旅行へ連れて行っていただきました。10歳前後の好奇心旺盛な時期にこのような経験が出来た事に、興奮と感動した事を今でも覚えています。

被爆都市ヒロシマに関わる戦争・平和をテーマとした歌を歌い継げてきた事も大きな経験です。

卒業してからも、別の団体ではありませんが合唱活動へ携わり、機会があれば自分の合唱の原点である合唱隊の定期演奏会へ参加させて頂けることを大変光栄に思います。毎回隊員達の澄んだ歌声に心洗われます。

これから70回・80回へと益々発展されます事をOBの1人として祈っております。



OB / 40 期生

延原 俊介



みなさんこんにちは。OB の延原俊介と申します。私は 1997 年、当時小学校 3 年生から中学校 1 年生までの 5 年間、広島少年合唱隊に所属させていただきました。

初めは特に歌うことが好きなわけではなく、3 つ年上の兄の影響で入隊したのを覚えています。しかし、楽しい仲間やいつも優しく、時には厳しい先生方と触れ合ううちに、いつの間にかみんなと歌うことが大好きになっていました。当時は幼かったため何も考えずただ楽しく過ごしていましたが、今大人になって考えると、いろいろなイベントやコンサート、海外への演奏旅行など普通では体験出来ないような貴重な経験をさせていただいたと思います。

また、合唱隊の最も魅力的なところは、歌を通じた人間形成だと思えます。笑顔や挨拶、仲間意識など、歌以外にも大切な事を多く、しかも楽しく学ばせていただきました。

今後も広島から美しい歌声と笑顔を全世界へ発信し続けて欲しいです。



OB / 49 期生

保本 祐希



広島少年合唱隊定期演奏会第 60 回記念おめでとうございます。合唱隊には小学校 1 年生の時から 11 年間本当にお世話になりました。

合唱隊では童謡、合唱曲から宗教曲、ミュージカルまで幅広いジャンルを扱い、今まで知らなかった音楽に触れることができたため、もっと様々な場所で色んな歌を歌ってみたいと思うようになりました。

11 年間過ごしてきた中で一番の思い出は小学校 5 年生の時に行ったドイツ演奏旅行です。今でもあの広い教会の中で響いた歌声をはっきりと覚えています。初めてのヨーロッパ渡航で不安なこともありましたが、ホームステイや現地の合唱団との交流を通して、歌だけでなく、日本と異なる文化を体験する面白さも知ることができ、海外留学に行きたいと思う原点にもなりました。

このように私は合唱隊で普段の学校生活ではできない貴重な体験をし、沢山のことを学ぶことができました。合唱隊の先生、隊員の仲間、保護者の方々に心から感謝します。

卒隊した現在も大学の合唱団に所属し、好きな歌を楽しんでいます。合唱隊で学んだことを活かしてこれからの経験を大切にしたいと思います。

OB / 49 期生

平澤 謙太郎



私は小学校 2 年生から高校 3 年生まで 11 年間、合唱隊でお世話になりました。

思春期で多感だった時期も、合唱隊は、大好きな音楽と仲間とに囲まれ、穏やかな気持ちになれる場所でした。一人っ子の私にとって、先輩方や後輩は兄弟のような存在です。音楽という共通の話題を持った、これからもずっと仲良くしていきたい大切な仲間もできました。

今まで、様々な場所で演奏させていただき、200 曲以上の歌に触れてきました。現在、大学に通いながら、アカペラのサークルをしています。私のそばにはいつも音楽があります。気がつけば鼻歌を歌っているし、家では常に音楽を流しています。こんなにも音楽が好きなのは、合唱隊で様々なジャンルの音楽に触れてきたからです。

これからも何らかの形で音楽に関わっていきたくて考えています。そして、自分が学んできたことを後輩たちに伝えることで、合唱隊に恩返しをしていきたいと思っています。



平澤くん (上)、保本くん (下)



第 1 部

ぼくたちのレパートリー

ぼくたちのレパートリーでは、「とどけ愛と平和のメッセージ」をスローガンとしている広島少年合唱隊が大切に歌い続けている歌や、隊員たちの大好きな曲を歌います。可愛らしい予科による「パプリカ」もどうぞお楽しみください。プログラムの最後は、広島市出身の詩人大木惇夫が反戦、反原爆の思いを込めて作詞した「大地讃頌」をOBとともに歌います。

1 折り鶴のとぶ日 ～原爆の子の像によせて～

小森香子／作詞 浜名政昭／作曲

2 あなたに会えて

山崎朋子／作詞・作曲

3 シーラカンスをとりにいこう

県多乃梨子／作詞 横山裕美子／作曲

4 パプリカ

米津玄師／作詞・作曲・プロデュース

5 COSMOS

ミマス／作詞・作曲

6 群青

福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成・小田美樹）／作詞
小田美樹／作曲 信長貴富／編曲

7 大地讃頌

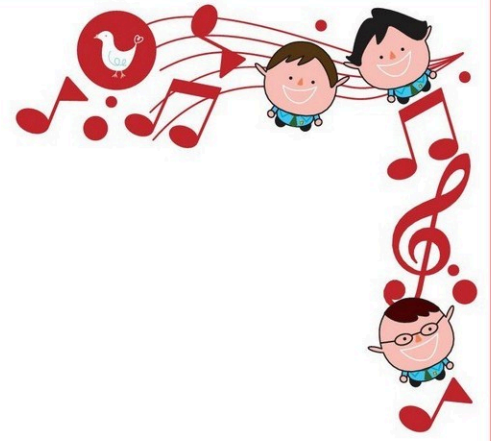
大木惇夫／作詞 佐藤真／作曲

休 憩



第2部

ミュージカル



8 獅子の笛

村田さち子／作詞 風琳／作曲

ああ、神様	黄金の鳥の歌
黄金の稲穂	雌獅子と黄金の鳥たちのコーラス
3匹のきつねの歌	動物たちの喜びの歌
歓喜の歌 パート 1	嘆きの獅子 その 2
歓喜の歌 パート 2	獅子の笛
獅子のデュオ	まつり
嘆きの獅子 その 1	フィナーレの大合唱
雌獅子のアリア	

休 憩

第3部

フォーレ「Requiem」

9 Requiem ニ短調作品 48

ガブリエル・フォーレ／作曲

ソプラノ／津波 ダニエル

バリトン／今田 陽次

演 奏／創立60周年記念室内オーケストラ

第1曲 Introitus et Kyrie (イントロイトゥスとキリエ／入祭唱と憐れみの讃歌)

第2曲 Offertorium (オッフェルトリウム／奉納唱)

第3曲 Sanctus (サンクトゥス／聖なるかな)

第4曲 Pie Jesu (ピエ・イエズ／慈愛深いイエスよ)

第5曲 Agnus Dei (アニユス・デイ／神の小羊)

第6曲 Libera me (リベラ・メ／私を解き放ってください)

第7曲 In paradisum (イン・パラディスム／楽園へ)

